慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	竹森俊平教授略歴・主要業績
Sub Title	Biographical sketch and selected scholarly achievements of professor Shumpei Takemori
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	2021
Jtitle	三田学会雑誌 (Mita journal of economics). Vol.113, No.4 (2021. 1) ,p.543 (121)- 547 (125)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-20210101-0121

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

竹森 俊平 教授　略歴・主要業績

＊ 2021年３月31日をもって慶應義塾大学経済学部を定年退職するのにともない，本学会を退会する会員の略歴・主要業績を次頁以下に掲載します。

本誌編集委員会

竹森 俊平 教授　略歴・主要業績

【学　　歴】

1989年3月	ロチェスター大学大学院経済研究科博士課程修了　PH.D
1985年3月	慶應義塾大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学
1982年3月	慶應義塾大学大学院経済学研究科修士課程修了
1980年3月	慶應義塾大学経済学部卒業

【慶應義塾大学内職歴】

1997年4月–現在	大学教授（経済学部）
1997年4月–現在	大学院経済学研究科委員
2001年4月–2005年9月	大学院経済研究科学習指導委員
1990年4月–1997年3月	大学助教授（経済学部）
1991年10月–1993年9月	大学国際センター学習指導主任
1990年4月–1992年3月	大学通信教育部学習指導副主任
1985年4月–1990年3月	大学助手（経済学部）

【外部委員歴】

2020年5月–現在	内閣官房 新型インフルエンザ等対策有識者会議 委員
2020年5月–現在	内閣官房 新型コロナウイルス基本的対処方針等諮問委員会 委員
2019年1月–現在	経済財政諮問会議 民間議員
2010年4月–現在	財務総合政策研究所 特別研究官
2003年12月–現在	読売新聞東京本社 客員研究員
2011年9月–2012年4月	内閣府経済社会総合研究所 「世界経済の構造転換が東アジア地域に与える影響」日中韓国際共同研究 座長
2005年4月–2006年3月	独立行政法人経済産業研究所（RIETI) ファカルティフェロー
1994年4月–1995年3月	（財）東京経済研究センター 理事（研究会担当）
1991年4月–1992年3月	理論計量学会 運営委員

【主要著作】

著書

『Weak Link－コロナが明らかにしたグローバル経済の悪夢のような脆さ』日本経済新聞出版　2020年10月

『欧州統合，ギリシャに死す』講談社　2015年8月

『資本主義は嫌いですか－それでもマネーは世界を動かす』（旧著の再収録 日経ビジネス人文庫）日本経済新聞出版　2014年2月

『通貨「円」の謎』（文春新書923）　文藝春秋　2013年5月

『ユーロ破綻－そしてドイツだけが残った』（日経プレミアシリーズ）日本経済新聞出版　2012年10月

『国策民営の罠－原子力政策に秘められた戦い』日本経済新聞出版　2011年10月

『日本経済復活まで－大震災からの実感と提言』中央公論新社　2011年5月

『中央銀行は闘う－資本主義を救えるか』日本経済新聞社出版本部　2010年7月

『世界経済危機は9つの顔を持つ』日経BP　2009年8月

『1997年－世界を変えた金融危機』朝日新書　2007年10月

『経済論戦は甦る』（旧著の再収録　日経ビジネス人文庫）日本経済新聞出版本部　2007年2月

『世界デフレは三度来る』（上・下）講談社BIZ　2006年4月

『経済論戦は甦る』（第4回読売・吉野作造賞受賞）東洋経済新報社　2002年10月

『世界経済の謎－経済学のおもしろさを学ぶ』東洋経済新報社　1994年12月

『国際経済学』（プログレッシブ経済学シリーズ）東洋経済新報社　1994年12月

論文

“Comment on ‘Trade Blocks and Trade Wars during the Interwar Period’ ,” (David S. Jacks and Dennis Novi) *Asian Economic Policy Review* 15(1). 2019年8月

“Toward a Euro-Pacific Partnership,” (Zaki Laidi, Shumpei Takemori and Yves Tiberghien) *Project Syndicate*. 2019年7月5日

「失われた10年と誤った「価格シグナル」」（竹森俊平，戸田淳仁）内閣府経済社会総合研究所 世界経済の構造転換が東アジア地域に与える影響 報告書　2012年4月

“Crisis and Creative Destruction: Cases of Korean and Japanese Stock Markets,” (Shumpei Takemori and Kenji Wada) *Asia-Pacific Financial Markets* 10(4). 2003年12月

“A Political Economy Theory of Foreign Investment: An Alternative Approach,” (Shumpei Takemori and Masatoshi Tsumagari) *Japan and the World Economy* 9(4). 515–531. 1997年12月

“Optimal Trade Taxes in the Presence of Foreign Ownership and Equity Exchanges,” (Shumpei Take-

mori and Masatoshi Tsumagari) *Journal of International Economics* 36(3–4). 483–500. 1994年5月

"The Most Favored Nation Clause," *Keio Economic Studies* 31(1). 37–50. 1994年

"Foreign Monopoly and Optimal Tariffs for the Small Open-Economy," (Ronald W. Jones and Shumpei Takemori) *European Economic Review* 33(9). 1691–1701. 1989年12月